

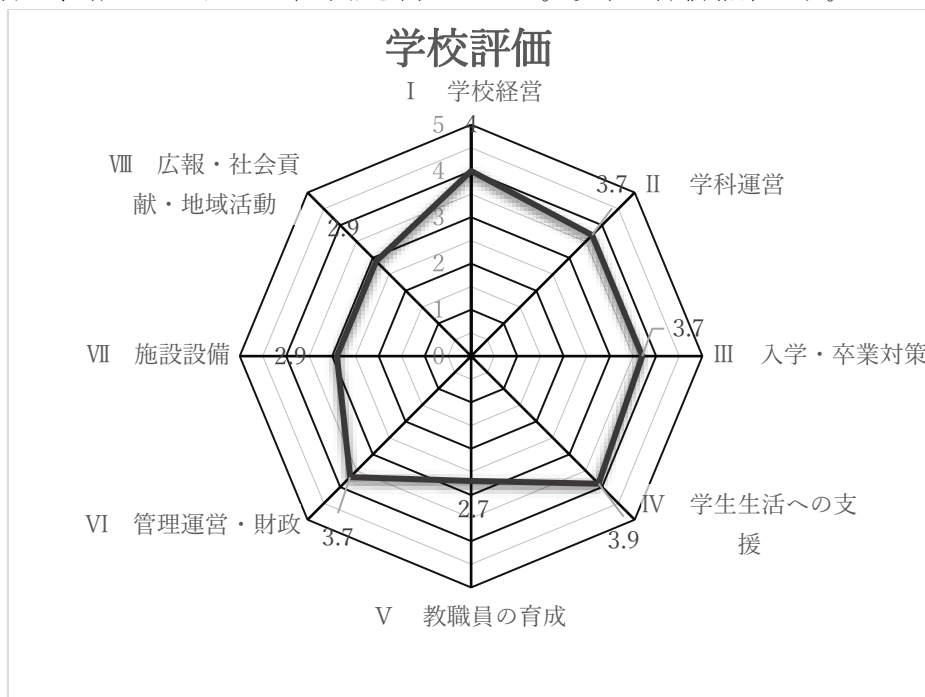
令和元年度 学校評価

本校では、学内に学校評価委員会を設置し、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、教育活動全般に渡って、学校評価を実施しております。

その結果をもとに教育内容や学校運営を見直し、改善を図り、より質の高い教育を提供できるよう取り組んでおります。

8つのカテゴリー41項目について、5段階評価(よい5点、ややよい4点、普通3点、やや不十分2点、不十分1点)として集計し、各カテゴリーの平均点を出示しました。以下が評価結果です。

カテゴリー	評点
I 学校経営	4.0
II 学科運営	3.7
III 入学・卒業対策	3.7
IV 学生生活への支援	3.9
V 教職員の育成	2.7
VI 管理運営・財政	3.7
VII 施設設備	2.9
VIII 広報・社会貢献・地域活動	2.9



○カテゴリーI～VIIIの評点は、3.4点でした。

- 【I 学校経営】組織目標を全職員が周知し、連携しながら問題解決に当たることができた。また学校評価を公表し外部評価委員会を開催することが出来たため、引き続き取り組みを行っていく。
- 【II 学科運営】実習中の記録スペースの確保が十分でない施設・部署もある為、実習施設と調整し、学生が効果的に学べる環境を整えていく。実習中のインシデントについては分析を行い、学生・教員間で共有し事故防止対策の強化に努めていく。
- 【III 入学・卒業対策】卒業生の支援として、今年度よりホームカミングディ及び卒業生評価を実施した。また平成 29 年より就職先への聞き取り調査も継続している。入学生の確保については高校訪問、在校生による母校訪問、オープンキャンパス、ガイダンスへの参加等引き続き取り組んでいく。
- 【IV 学生生活への支援】平成 30 年度まで行っていたサークル活動が現在休止状態の為、学生の意向を聞きながら取り組みへの支援をしていく。
- 【V 教職員の育成】教員の授業参観・授業研究や調査研究活動の実施が課題であり低い結果となった。今後具体的な取り組み計画を検討していく。
- 【VI 管理運営・財政】学生の個人情報保護については、ルールを再検討し周知・実施に努めている。学生への一斉メールを整備することが出来た。さらに災害時の対応については取り組みを進めていく。
- 【VII 施設設備】今年度は学習機の更新、黒板のホワイトボード化など学習環境の整備を進めることが出来た。さらに、ICT環境の整備を含めた図書館の充実や、教材備品の更新を進めていく。
- 【VIII 広報・社会貢献・地域活動】広報活動のためのホームページの充実が課題である。地域活動としては、学生会主体の清掃ボランティアに取り組んでいる。また、実習施設でのボランティアや職業講話などにも参加している。